

2017年度 第2回男女共同参画委員会報告

開催日 2017年5月23日(火) 10:00~12:00 ドーンセンター

委員 7名

1. ドーンセンター見学 約50分の情報ライブラリーツアー

- ・10万冊の蔵書を持つ女性センターは、全国に10か所
- ・女性に関する書物・資料等が図書館のように分類別に整理され、その上にドーンセンター独自のキーワードで分けられている。テーマで探す際に便利な工夫がされている。
- ・男女共同参画にかかわる子ども向けの本があり、子どもの素朴な疑問にどう話せばよいか困ったときや、相談されたときに参考になる本が設置されている。親子でも来られる場。
- ・テーマを言えば、参考になる書物や資料をチョイスしてセットで貸し出してくれるサービスはとても便利(30冊を1か月間)。
- ・DVDの視聴もでき、借りる前に確認ができる。
- ・大阪府だけでなく他府県も含めて、行政の資料やNPO等の活動ニュースなどが豊富にあり、委員会での企画を検討する際に参考になる。
- ・講師等の人材情報も提供してくれるので、講演会や学習会の企画に参考になる。
- ・就労支援とも連携がされていて、カウンセリングも受けることができる。
- ・もっと府民に広報して、活用しないともったいない。委員会でも活用しよう。

2. ミニ学習会・・・新聞報道より

- ・「子の自殺」小中高減らぬ傾向・・・日本全体の自殺者数が減る中で、小中高校生は減っていない。2016年、320人の自殺者のうち、小学生12人、中学生93人、高校生215人。3分の2は男子。
- ・「君は悪くない 若者へ届け」・・・2度の自殺未遂を経験したミュージシャンは音楽に救われた。相談は、答えを求めているわけではない。「自分を受け止めてほしい」というメッセージ。子どもたちのSOSを受け止めた時は、すぐに「ちゃんと気づいているよ」を伝えること。
- ・『チクった』言われるの怖くて・・・親が学校に相談⇒生徒指導で「学年集会」が開催される⇒「チクった」と言われ、自殺。「学校や部活がイヤなら行かなくていい。10代はまだ人生のスタート地点。命だけは大切に(父親)」
- ・「正しい生徒指導 悩み続け」・・・教師と生徒が信頼関係を築き、問題を予防することが生徒指導。問題行動、責めるより聴いて。
- ・「既読スルー」逃げ場失った・・・ネット上でのいじめの増加(「裏グループ」「〇〇を殺す会」)。たとえ、引越しても自分を傷つける言葉や画像はネット上から消えるわけではない。子どもと向き合い、会話するという当たり前のことが命を守る。
- ・「同性 好きでも悪くないんだ」・・・「多様な性」学校で正しい情報を
- ・ガマンできるのは大人?それとも子ども?・・・親がスマホばかりに気を取られ、話しても上の空。子どもは、学校にいる間、ガマンしているが、大人は1日中スマホを傍らに置い

ている。生徒会活動で、ポスターを掲示「運動会で勝手に撮影し、ネットに投稿する保護者に『投稿しないで!』」「授業参観中にスマホを操作する保護者に向けて『操作禁止!』」。